



学校だより

3月号

横浜市立六つ川台小学校
令和6年2月20日

URL: <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/mutsukawadai/>
E-mail: ky-e-mutudai@city.yokohama.jp

人間だからこそできることを

校長 本間 明

コロナ制限が緩和された2023年、世界では新しい動きが始まりました。それは生成AIの登場です。AIとはアーティフィシャル・インテリジェンスの略。日本語で人工知能の意味です。文章が、絵が、音楽が、動画が、AIにより作り出されるようになりました。かつてAIは、記憶したり計算したりすることは得意だけれど、人間のように何かを生み出す（生成する）ことはできずと考えられていました。

ところが、それが大きく変わったのが2023年です。記憶したり計算したりするだけでなく、文章を、絵を、音楽を、動画を生み出すことができる生成AIが我々人間の前に現れました。そのため2023年はAI元年などとも呼ばれます。

生成AIにより、ある意味、人間が作り出すよりもすごい文章が、絵が、音楽が、動画が作り出されるようになりました。それは、私たち人間を大いに助けてくれる力となります。何人もの人間が何日もかけて作り出すようなものも、生成AIはあっという間に作り出してしまうからです。

いっぽう、こまったことも起きてきました。AIに、プロのかいた文章や絵を無断で真似させたり、本物と区別ができない絵や動画を作らせて人をだましたりする人間が出てきたからです。

これは、AIに問題があるのではなく、AIを使う人間に問題があります。AIはこれからさらにできることが増えていくでしょう。いろいろな面で私たち人間を超えていくでしょう。では、私たち人間が、人間だからこそできることは、いったい何でしょうか。

それは正しく使うことです。

AIは道具です。人間が、道具に追い越されたのは、何も今回のAIが初めてではありません。はさみは手でちぎるよりもきれいに物を切ることができ、車は人より速く走り、飛行機は人が飛べない空を飛びます。でも、それらの道具を使っているのは人間です。はさみも車も飛行機も、正しく使えば我々人間にとって大きな助けとなりますが、悪いことに使えば恐ろしい物になってしまいます。

AIが登場しても、必要以上にこわがることはありません。私たちは正しくAIと付き合いましょう。何が正しいのか、その多くを子どもたちは学校生活とおして学んでいます。2023年度の1年間、私たち教職員が、子どもたちのその正しい学びのお手伝いをできていたのであれば、とてもうれしく思います。

1年間ありがとうございました。4月からの2024年度もまた、みなさまにとってすばらしい1年でもありますことを願っています。